

流山市

Nagareyama City

流山市土木部河川課

電話：04-7150-6095

E-mail：kasen@city.nagareyama.chiba.jp

令和2年9月作成

令和5年9月改訂

洪水 ハザード マップ



我が家の防災メモ（災害時の主な連絡先）

避難場所					
集合場所					
緊急連絡先(親戚・知人等)					
家族の 連絡先	名前	生年月日	血液型	会社・学校等の住所	電話番号

気象情報

● 気象情報の種類と発表基準

大雨	注意報	大雨により災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
	警報	大雨により重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
	特別警報	大雨により重大な災害の起こるおそれが著しく大きいと予想される場合に発表する予報
洪水	注意報	洪水により災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
	警報	洪水により重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
土砂災害警戒情報		大雨による土砂災害発生危険度が高まったとき、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報
記録的短時間大雨情報		数年に1回程度発生する激しい短時間の大雨を観測、または解析したことを発表する情報

● こんなときは、注意

台風



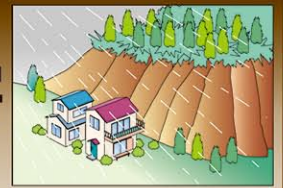
日本列島には毎年多数の台風が接近または上陸し、強風と大雨によりたびたび大きな被害にまっています。台風情報に注意して被害が出ないように備えましょう。

線状降水帯 集中豪雨 局地的大雨








線状降水帯とは、次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした積乱雲群によって、数時間にわたりほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、強い降水をとまなう線状の雨域です。集中豪雨とは、線状降水帯などの原因により同じような場所で数時間にわたり強く降る雨のことです。局地的大雨とは、単独の積乱雲が発達することによって、数十分の短時間に狭い範囲に急に強く降る雨です。

土砂災害



嵐山市には令和5年4月1日時点では14箇所の土砂災害警戒（特別警戒）区域があります。これらの地域は台風や集中豪雨・地震によって大きな被害を被ることが考えられますので、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域をハザードマップで確認し、地域ぐるみで十分な注意をしましょう。







● 雨の強さと降り方と強さ

1時間の雨量(mm)	予報用語	雨の降り方、災害発生状況	
10~20	やや強い雨	ザーザーと降り、話し声がよく聞こえない。地面に水たまりができる。	
20~30	強い雨	どしゃ降り。側溝や下水、小さな川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。	
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降り、道路が川になる。がけ崩れが起きやすくなり、都市では下水管から雨水があふれる。	
50~80	非常に激しい雨	滝のように降り、マンホールから水が噴出する。	
80以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨。安全な場所へ避難してください。	


浸水継続時間

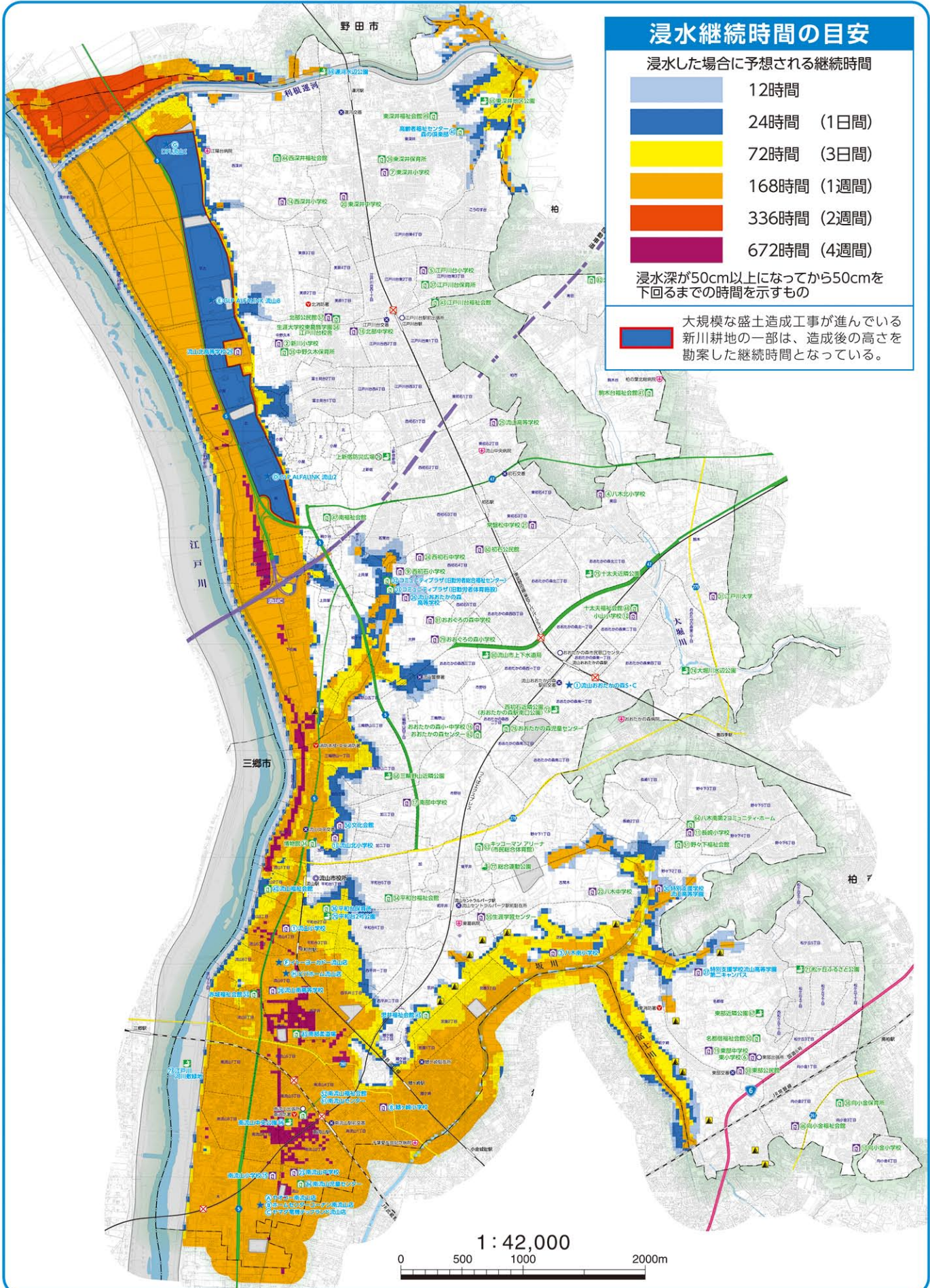
浸水継続時間の目安

浸水した場合に予想される継続時間

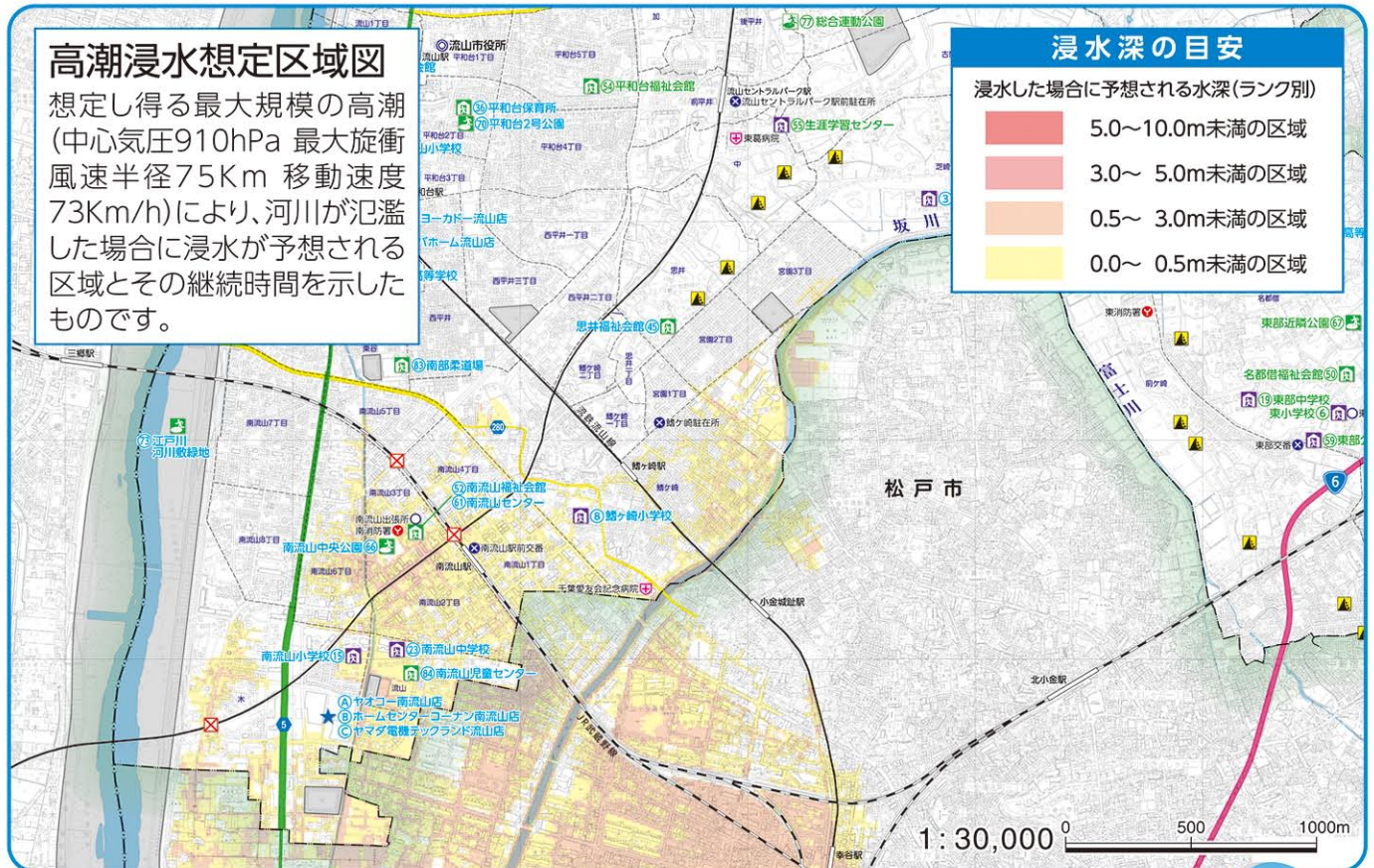
	12時間
	24時間 (1日間)
	72時間 (3日間)
	168時間 (1週間)
	336時間 (2週間)
	672時間 (4週間)

浸水深が50cm以上になってから50cmを下回るまでの時間を示すもの

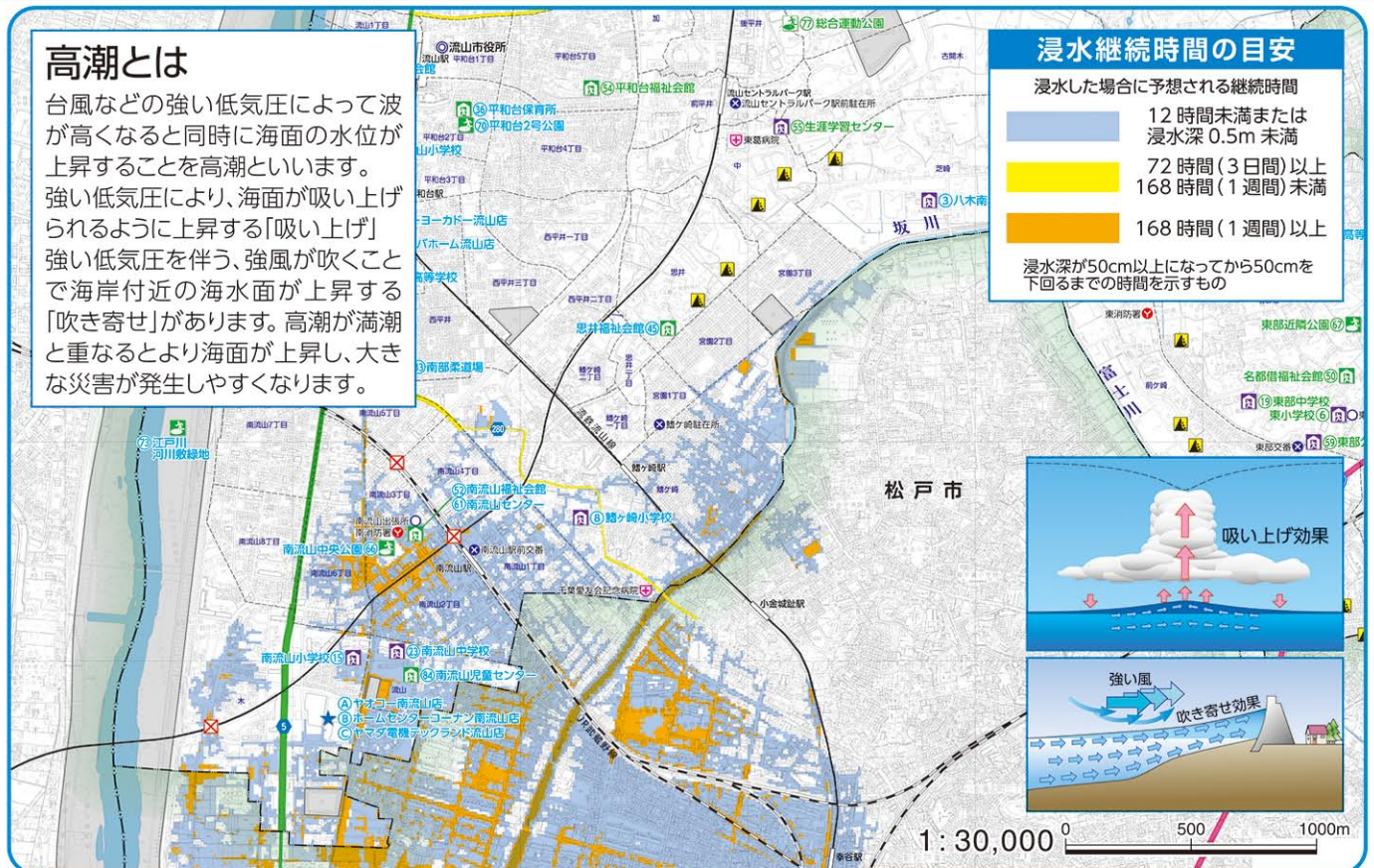
 大規模な盛土造成工事が進んでいる新川耕地の一部は、造成後の高さをもとにした継続時間となっている。



高潮浸水想定区域図



高潮浸水継続時間



市が出す避難情報と国や県が出す防災気象情報

洪水や土砂災害、河川の氾濫などの際に、5段階の「警戒レベル」を用いて、避難情報を発令します。

警戒レベル3【高齢者等避難】や**警戒レベル4【避難指示】**が発令された際には、危険な場所から速やかに避難行動を取りましょう。

避難情報等		防災気象情報	気象状況
警戒レベル	避難行動等	警戒レベル相当情報(例)	
警戒レベル5	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等	数十年に一度の大雨
警戒レベル4	速やかに避難先へ避難 しましょう。 公的な避難所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 高潮特別警報 高潮警報 等	大雨の数時間 ~2時間程度前
警戒レベル3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその 支援者 は避難をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報 警報に切り替える可能性が高い旨に言及された高潮注意報 等	大雨の半日~数時間前
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認 しましょう。		大雨の数日~約一日前
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	これは、住民が自主的に避難行動を取るために参考とする情報です。	

※各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

情報収集

流山市からの情報 流山市安心メール あらかじめ登録されたメールアドレスに防災情報などを配信します。QRコードから登録手続き、または登録用メールアドレス[nagareyama-address@anshin-bousai.net]に空メールを送信してください。自動返信されたメールから手続ができます。		流山市公式 X(旧Twitter) 緊急性の高い行政情報をツイートします。 @nag_anshinanzen	
防災行政無線・テレホンサービス 災害情報などの重要な情報を市内79局の屋外スピーカーから放送します。放送内容が聞きづらい場合は、テレホンサービス(フリーダイヤル:0120-783170 ナガレヤマ サインゼロ)をご利用ください。		流山市LINE公式アカウント 災害時における避難指示や応急対策など、緊急にお知らせしたい情報を配信します。QRコードを読み取り、友だち追加してください。	
流山市ホームページ 流山市の公式ホームページです。施設や行政サービスの案内、イベント情報、観光情報などについてもご紹介しています。 https://www.city.nagareyama.chiba.jp/		関係機関からの情報 国土交通省「川の防災情報(雨量や河川の水位)」 河川の水位や河川の映像がリアルタイムでわかります。 https://www.river.go.jp/index	
dボタン 天気予報、警報や注意報、避難情報、避難所開設など [dボタン]とは、地上デジタルテレビ放送などに対応したテレビのリモコンに付いているボタンの一つです。放送中の番組に連動した情報や、天気予報・交通情報などさまざまな情報を配信するデータ放送に利用されています。		千葉県防災情報ポータルサイト(雨量・水位情報) 最新の雨量・水位情報をお知らせします。 https://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/	
Yahoo!防災情報 アプリケーションを利用し、さまざまな防災情報をリアルタイムに配信 https://emg.yahoo.co.jp/ QRコードを読み取り、手順に従って登録してください。		銚子地方気象台 今後の気象情報や発令中の気象情報を市町村ごとに確認できます。 https://www.data.jma.go.jp/choshi/	
iPhone版 		千葉県土砂災害警戒情報システム 土砂災害危険度や土砂災害警戒情報などを発信しています。 http://dosyabo.bousai.pref.chiba.lg.jp/	

日頃からの心得・準備

●天気予報や気象情報に気をつける

梅雨期や台風シーズンなど、大雨が起こりやすい時期には、テレビ、ラジオ、新聞の天気予報に注意し、天気の移り変わりに気をつけましょう。



●家のまわりを点検・整備しておきましょう

家のまわりに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や雨どいなどは傷んでいないか確認をしておきましょう。



●道路の側溝や雨水ますの点検をお願いします

雨水ますの取水口が落ち葉やごみで詰まると道路冠水の原因になります。普段から雨水ますの清掃にご協力ください。

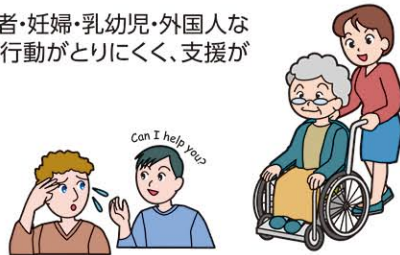


●普段から災害時要配慮者に気配りしておきましょう

自分の家族や住みだけでなく、地域全体にも目を向けましょう。特に一人暮らしの高齢者には気配りが必要です。普段から地域で水害時の避難所等を確認するなど、話し合っておきましょう。

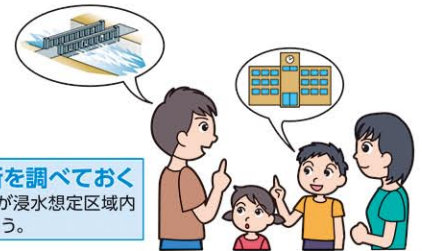
【災害時要配慮者】

高齢者・障がい者・病弱者・妊婦・乳幼児・外国人など災害発生時に的確な行動がとりにくく、支援が必要となる方



●避難所や避難路を確認しましょう

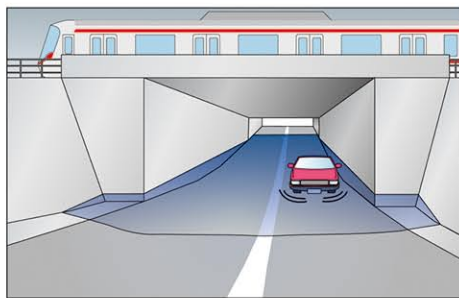
この地図には、大雨時に避難する場所や集合場所が表示されています。普段から自分の地区の避難所や集合場所はどこなのか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいのかを確認しておきましょう。



身近な場所の危険箇所を調べておく
自分の家や勤め先、学校などが浸水想定区域内にあるか、確認しておきましょう。

●大雨の時は通らないように場所を確認しましょう

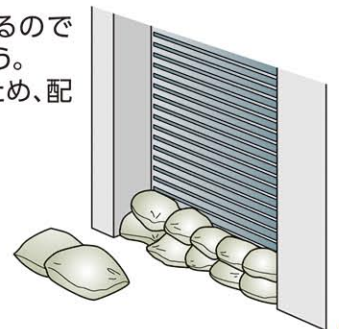
鉄道の高架下や地下空間など低くなっているところは、雨水が集中し冠水リスクが高いのであらかじめ確認しておきましょう。



●土のうを準備しておきましょう

いざというときのために水害リスクがあるお宅は、事前に土のうを準備しておきましょう。また、水で膨らむ水のうなどは、いざというときに便利です。用意しておきましょう。

市で土のうを配布しているので事前に準備しておきましょう。たくさんのご依頼があるため、配布後は自己管理をお願いしております。



●事前にマイ・タイムラインを作成しましょう

ハザードマップで自宅の水害危険度を確認したら、家庭の状況、避難先、移動手段など自分自身の状況をチェックし、水害が迫ってきたときの行動を考えて、あなた自身の「マイ・タイムライン」を作っていざという時に備えましょう。



避難時の心得

●安全な避難路

避難所までの経路(避難路)は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全な避難路を通行しましょう。



●火の元、戸締りを確認

避難命令が出たら、まずは火の元、戸締りを確認しましょう。



●非常持ち出し品の事前準備を

避難する時の荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。



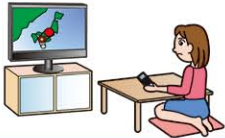
●お年寄りなどの避難に協力を

お年寄りや子ども、病気の方は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子ども、病気の人などの避難に協力しましょう。



●正確な情報収集と自主的避難を

テレビ・ラジオで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



●車での避難は控えて

避難所への自動車での避難は緊急車両の妨げになりますので車での避難は避けましょう。



●避難の呼びかけに注意を

危険が迫った時には、市役所や水防団(消防団)から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう。



●丈夫な建物の上層階に避難(垂直避難)

避難所に避難できない場合は、マンションや店舗等の丈夫な建物の上層階に避難(垂直避難)しましょう。災害時に一時避難施設として使用可能な緊急的な施設がありますので確認しておきましょう。



●動きやすい格好、2人以上での避難

避難するときは、はだしや長靴は危険ですので、動きやすい格好の紐で締められる運動靴で、2人以上での行動を心がけましょう。また、水面下では道路や側溝などの境目がわかりにくかったり、水圧でマンホールのフタがはずれていることがあるため長い棒を杖代わりにして安全を確認しながら歩きましょう。



災害の「備え」チェックリスト

準備が出来たら
✓ チェックを
入れよう!

●非常用持ち出し袋 非常の際に持ち出すもの!

- | | | | | |
|---|---|---|--------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 水 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯(※手動充電式が便利) | <input type="checkbox"/> 軍手 | 感染症対策 | |
| <input type="checkbox"/> 食品 (ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど最低3日分の用意!) | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(※手動充電式が便利) | <input type="checkbox"/> 洗面用具 | | <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> 防災用ヘルメット・防災ずきん | <input type="checkbox"/> 予備電池 | <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 | | <input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール |
| <input type="checkbox"/> 衣類・下着 | <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく | <input type="checkbox"/> タオル | | <input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ |
| <input type="checkbox"/> レインウェア | <input type="checkbox"/> 常用薬 | <input type="checkbox"/> ペン・ノート | | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 上履き | <input type="checkbox"/> 救急用品 (ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など) | <input type="checkbox"/> 貴重品 (通帳、現金、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカード) | | <input type="checkbox"/> 体温計 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話(スマートフォン)・携帯充電器 | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ | <input type="checkbox"/> ハザードマップ | | |

子どもがいる家庭の備え

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 液体ミルクなど | <input type="checkbox"/> 子供用紙おむつ | <input type="checkbox"/> 抱っこひも |
| <input type="checkbox"/> 離乳食 | <input type="checkbox"/> お尻ふき | <input type="checkbox"/> 子供の靴 |

女性の備え

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 生理用品 | <input type="checkbox"/> サニタリーショーツ | <input type="checkbox"/> 防犯ブザー |
| <input type="checkbox"/> おりものシート | <input type="checkbox"/> 中身の見えないゴミ袋 | <input type="checkbox"/> ホイッスル |

高齢者がいる家庭の備え

- | | | |
|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ | <input type="checkbox"/> 入れ歯 | <input type="checkbox"/> デリケートゾーンの洗剤 |
| <input type="checkbox"/> 杖 | <input type="checkbox"/> 入れ歯用洗剤 | <input type="checkbox"/> 持病の薬 |

備蓄品

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 食料や水(最低3日分!できれば1週間分)×家族分 |
| <input type="checkbox"/> ティッシュ、トイレトペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯トイレなど |

外水氾濫と内水氾濫

外水氾濫



内水氾濫



内水氾濫による被害例

内水氾濫とは、降った雨が雨水排水施設の処理能力を超えて、排水先である河川などの水位が上がっている時に雨水を排水できなくなり、マンホールや側溝及び水路などから水があふれて、道路や敷地が浸水することをいいます。



想定外雨量・河川からの逆流・雨水排水能力不足



側溝や雨水ますにごみや落ち葉が詰まり道路が冠水

流域治水

対策の3つ柱

流域治水は、河川・下水道管理者等による治水対策に加え、国・地方自治体・企業・住民を含む流域全体のあらゆる関係者が主体となって水災害対策を行う考え方です。

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

ためる、しみこませる **集水域**
 雨水貯留浸透施設の整備
 ため池等の治水利用

ためる **河川区域**
 治水ダムの建設・再生、遊水池の整備、利水ダムの活用
安全に流す
 河床掘削等の整備
氾濫水を減らす
 堤防の強化

2. 被害対象を減少させるための対策

よりリスクの低いエリアへ誘導 **氾濫域**
 移転促進
浸水範囲を減らす
 二線堤防の整備、自然堤防の保全

3. 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実
 水災害リスク情報の空白地帯解消、多段型水害リスク情報を発信
避難体制を強化する
 長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握
経済被害の最小化
 工場や建築物の浸水対策、BCPの策定



住まい方の工夫 **氾濫域**
 不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進
被災自治体の支援体制充実
 官民連携によるTEC-FORCEの体制強化
氾濫水を早く排除する
 排水門等の整備、排水強化